

会 議 録

会 議 の 名 称	中央小・星宮小再編成準備委員会 第7回学校運営部会
開 催 日 時	令和2年11月18日（水） 開会：午後6時30分・閉会：午後7時25分
開 催 場 所	産業文化会館第2会議室
出席者（委員） 氏 名	柿沼耕一部会長、梶野美穂子、番場由季子、森 安正、櫛引浩士、 武田好美、塚越 要、宮浦 将、馬場充子、三田昌子
欠席者（委員） 氏 名	本城 純、舞原智治
事 務 局	上野主幹、久積、田沼
会 議 内 容	（１）校章について
会 議 資 料	・資料（校章募集要領、チラシ）
そ の 他 必 要 項 事	傍聴人 なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	1 開会
	2 議事
	(1) 校章について
部会長	校章についての説明を事務局からお願いします。
	(資料説明)
事務局	・募集要項の案について説明
部会長	何か質問はあるか。
A 委員	応募期間が2月26日までだと短く感じる。良い意見を出してもらうためにも延ばす方法はないか。
B 委員	延ばせば可能性はあると思う。あとは周知も大事で、いくら延ばしても周知ができてなければ出てこない。
C 委員	あまり延ばしすぎると、新入生が入ってくるし、卒業生もせっかく考えたのに投票に参加できなくなってしまう。
D 委員	案がたくさん出てくる可能性があるので、期間は長い方が良い。
E 委員	長くしたところで、デザインが浮かぶのかなと思ってしまいうので、この期間でも良いと思う。
F 委員	期間より周知の方法が大事で、進修館高校やものづくり大学にも知ってもらいたい。デザインをやっている人であれば、期間を長くすれば良いという訳でないと思うが、2か月では厳しいと感

	じる。周知はいつころか
事務局	議会の最終日から１２月２１日までにはチラシ配布する。市報は１月号になる。
F 委員	それだと期間が短いと感じる。
G 委員	最終的に完成はいつ頃なのか。
事務局	令和３年の１学期が終わる頃と思っている。
G 委員	それなら、もう少し延ばしても良いと思う。選ばれたものによっては編集をしないといけないから、さらに１か月程度かかる事も考えないといけない。
H 委員	以前の会議で示してもらったスケジュールにあるが、４月の児童投票を動かせるかどうかだと思う。広い年代に応募してもらいたいので、１２月１７日以降に周知を始めてから応募になることを考えると、もう少し延ばしても良いと思う。
I 委員	こだわりたい方もいると思うし、無駄に長引かせるのも意味がないので、可能であれば１か月程度延ばせば良いと思う。
部会長	卒業式で慌ただしくなる前の金曜日であれば３月１９日になる。
事務局	学校運営部会と準備委員会で候補を絞った後に児童投票を実施する予定である。児童投票は４月を考えていたが、新学期早々に実施することは難しいと前回の会議でも話があった。５月であれ

	ば可能か。
H 委員	大丈夫だと思う。4 月だと始まったばかりでバタバタしている。
事務局	候補を絞るのは 3 月の学校運営部会を予定していたが、4 月中に候補を絞り、5 月に児童投票を実施すれば、6 月の学校運営部会には投票結果を示せる。締め切りを学校が開いている時期とすると、卒業式の日か修了式の日どちらかだと思う。
部会長	卒業式は 3 月 24 日、修了式は 3 月 26 日となる。それより前ということで、3 月 19 日で良いか。
各委員	(了解)
	3 報告
部会長	(1) 閉校記念事業について 閉校記念事業実行委員会を各校で組織した。その進ちょく状況を報告する。部会の編成は両校同じで、総務部、記念事業部、記念誌編纂部があり、各部で決めたことを承認する実行委員会がある。まず、中央小についてだが、予算がわからないので、予算の大小で 3 案考えている。式典日程については修了式後で、他の学校もあるので教育委員会に決めてもらいたいという話も出ている。来賓も他の学校も同じ方に来てもらうようにするのであれば、教育委員会から指導していただきたい。記念誌は児童の家と来賓、小中学校など 700 部を想定している。配布方法は子供を通して配布、郵送や持参を考えている。デジタルブックのみ、デジタルブックと紙の冊子、冊子のみの 3 通りを考えている。学区内の全世帯だと多すぎるので、デジタルブックを作ってインターネットで公開するという話も出ている。記念コーナーは玄関の中央小の

	年表がある所と会議室の一部を考えている。P T A会長と昭和29年からの校長の写真が飾ってあるが、星宮小との再編成に伴い、1枚に4名の写真を入れるように考えている。記念品も金額によって何通りか考えている。記念事業部について、当日資料は卒業式の例にならうことになった。D V Dを流す案も出ており、D V Dを記念品とする案も出た。修了式の直後であれば児童も出やすいと思うが、来賓が全ての学校に行けないデメリットもある。卒業生にも案内を出したいと思っている。記念誌編纂部について、記念誌は最大で150～200ページを考えている。
星宮小校長	星宮小の報告をする。部会での検討段階だが、式典日程は3月末で土日の方が、来客が出やすいという意見が出ている。来賓は運動会や卒業式を基に検討したいと思う。中央小と同じ観点で、市関係は教育委員会と調整していきたい。記念品は来客等に配るなら300個、全世帯に配るなら800個を想定している。金額によって3種類の品物の中から検討していく。寄付金を集め、返礼品を渡すという話も出た。感謝状は賞状を入れる額と花束という案が出ている。記念事業部について式典のプログラム案を作成した。その中には子供の出番も作りたいと思っている。式の中にバルーンリリースを行う案も出た。D V Dは記念誌編纂部と協力して作成するため、連絡員を決めた。広報用に子供にポスターを書いてもらう意見も出た。記念誌編纂部は記念事業部と協力して30分程度のD V Dを作成する予定となっている。記念誌については部会でデータ集約し、編集は業者に頼みたいと考えている。
A 委員	日程だけは他の学校と同じ時期になることを想定し、気を付けてやっていきたい。
G 委員	他の自治体では、記念誌のP D Fや校歌のリンクをホームペー

	ジに載せている。行政の方でも行田市の歴史として残すことを検討してもらいたい。市民にとっても良いし、これから閉校をしていく自治体の役に立つと思う。
事務局	現在も準備委員会などの会議録を掲載しているので、同じページに載せることは可能であると思う。記念誌の場合、顔が写っていることが心配なところである。
G 委員	載せている所は顔をぼかしていた。そういった手間はかかる。
部会長	今後、検討していくこととしたい。
B 委員	同じ時期に見沼地域の閉校があるかもしれないが、中央小と星宮小は1つになるということで、最低限、中央小と星宮小の閉校事業に対する価値観は併せて、足並みをそろえていった方が良いと思った。人数が違うので規模は異なると思うが、中身の濃さ薄さがない方が良いと思う。来賓の問題もあると思うが、個人的には、閉校式の日程も同じ日が良いと思っている。
部会長	両校の合同会議をする必要はあると思っている。
事務局	(2) 校歌について ・候補者と事前調整を行った。 ・正式な依頼は4月以降を予定している。
部会長	その他に何かあるか。
E 委員	校章は、子供から良い案が出ても手書きだと思うが、どのように進めるのか。

事務局	候補が絞られた時点で、手書きのものは補正したいと考えている。
事務局	4 次回の会議の日程について 今後の会議は、現時点で未定であるので、開催する時は案内をする。 5 閉会